

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター



【本 部】
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662
【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984
【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722
城東区成育 5-22-10-2F
TEL.06-6786-1008
【エニグマ】
中央区谷町 9-4-5-3F
TEL.06-6777-1563

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000
【関目教室】
城東区関目 4-6-17F・3F
TEL.06-6934-8117
【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467
【カイチ予備校】
城東区今福西 1-10-17
TEL.06-6935-2220
【万緑会】
天王寺区上本町 6-9-10-3F
TEL.06-6772-5011

中間・期末テスト共に450点以上が100人以上!!

中学生学年別 夏の過ごし方のポイント



毎日暑い日が続きますが、いかがお過ごしですか。今年度はコロナも落ち着き、3年ぶりに日常を取り戻した感があります。学校行事も通年通り実施され一安心していますが、中学生のみんなにとっては初めての普通の中学生活です。毎日のクラブと定期テストがあり皆さんハードな毎日を送っていると思います。

気になる1学期の定期テスト結果ですが、**中間テストが、なんとカイチ賞(5教科平均90点以上)が107名!塾生の20%!!!努力賞(過去1年間のベスト)が188名(38%)、1学期期末テストがカイチ賞105名、努力賞が142名ととてもない成績アップを達成**しました。1学期は表彰の図書カードが大放出です。皆さんお疲れ様です。

期末テストが終わったばかりですが、7月21日からは夏期講習がスタートします。「えー、せっかくの夏休みなのに…」と皆さんの心の声が聞こえてきそうですが、まとまった休みに中に全学年・前学期の復習をしておくことで、受験に直結する偏差値アップだけでなく、2学期以降の学習理解が圧倒的にアップします。

クラブ活動も夏の大会を目指して活発になる時期ですので、今回は中学生のこの夏の過ごし方のポイントを学年ごとにお伝えしたいと思います。

中1生はいよいよクラブ活動が本格化し、夏期講習も始まりますが体調に要注意です。保護者の方は、子供達の体力がついてくる秋口まで、子供達の様子を注意深く見ていただけるようお願いします。

個人差がありますが、多くの中1生がまだまだ小学生程度の体力で、一回りも二回りも体格の大きい先輩達のメニューについていかなければなりません。これが、夏を超えて秋口になると、体力が付き嘘のように、元気にクラブと勉強がこなせるようになってきますが、夏休みが終わるまでは慎重に見てあげなくてはならない時期です。

この時期は暑さで体力が取られ、「ご飯が食べられない」「水分の取り過ぎで、下痢が止まらない」「ヘルペスが出る」など体調を崩してしまう生徒も少なくありません。もし、「バテているな」と感じたら無理をさせないようにしてください。(塾も補習などで対応しますので安心ください)

中2生の皆さんは、この夏しっかり弱点単元の復習をしてください。学年ごとの受験出題割合は、中1が30%、中2が30%、中3が40%とされています。今、中学2年生の1学期が終わったところですから中1から考えて、まだ受験に出題される40%の学習が終わったところ です。

「それなら、そんなに勉強しなくてもいいのでは?」と考えてしまうかもしれませんが、2学期から始まる残り60%の学習内容は難易度が一気に上がります。現に、中2生の皆さんは、数学の連立方程式の応用あたりから現在学習している一次関数と、すごく内容が難しくなったと感じませんか。中2の2学期から全教科の難易度が上がります。そして、これらの内容理解のためには、中2の1学期までの全体の40%内容の学習理解が不可欠です。

入試においては40%。でも、これから先の60%の理解を支えるのがこの40%。基礎固めをするのはこの夏です。ここでしっかり頑張ることで、これからの実力の付き方が変わり、中3になった時には大きな違いとなります。「こなす」のではなく、「身に付ける」。そのような気持ちで夏期講習に挑んでください。

中3生の夏は受験の天王山。10月・11月の実力テストや模擬試験で私立受験校が決定されることを考えると、残された時間は限られています。この夏、最高の成果を上げるための学習のコツを書いておきます。

〈三者懇談会で目標設定を明確に〉

7月の三者懇談会の目的は「現在の実力と目標校までのレベル差」を知ってもらうことで

COLUMN: 先生紹介

くじけている場合じゃない



はじめまして!今年から関西学院大学1回生になりました、高木晴史です!開智には年長の時から小学6年までそるばん教室に通い、小学5年から高校受験まで、そして予備校で大学受験まで、本当に長い間お世話になりました。更には、今年から関目教室に勤務することになりました!

この場を借りて、皆さんにお話ししておきたいことがあります。[くじけぬ心]についてです。(ドラクエの話ではありません。)

小学6年生の頃、兄が通っていた四條畷高校の文化祭に行きました。そこで、触れた生徒達の活気、学校の雰囲気、学校に惹かれ、高校受験の第一志望を四條畷高校にしようと決めました。

新しい環境にいると、ソワソワしてしまいますよね。中学に入学すると、新しいことの連続で毎日が楽しかったことをすごく覚えています。そんな時に、悪名高い定期テストがやってきました。学校の先生によく言われたあの言葉、「トップ10校(四條畷もこのうちの1校です)に行くには5教科450点は要るよ」。なるほど、じゃあ毎回450点取れば良いじゃん、と思いました。しかし、1年の間は一度

も450点を超えることができませんでした。こんなはずでは…と何度思ったことでしょうか。

中学2年になり、中2こそは、と意気込んだ、一学期中間テストで450点を初めて取ることが出来ました。これが自分にとって大きな弾みになったことは間違いありませんでした。それからは、450点以上をずっと取り続けることはできなくても、最悪440点代に抑えることが出来たし、460点代を取れたこともありました。

そして中学3年。受験を意識せざるを得ない時期になりました。この時期で本当にキツかったのは、偏差値が全くと上がらなかったことでした。模試判定ではC判定が最高で、いつもはD判定、E判定の連続でした。何度泣きそうになったことか。友達に、「お前が四條畷行けるん?」と言われたこともありました。本気で腹がたちました。励ましてくれる人が多数いる反面、振るわない成績とネガティブな発言は一層自分に重くのしかかりました。英検2級(取れば、本番英語8割確定)を中3の12月時点で取れていない時も最高に焦りました。私立で1ランク下のコースに回し合格になった時は泣くほど落ち込みました。自分の苦手科目、社会歴史は先生からアドバイスをいただき、自分で年表を1から作り直しました。「意味あるん?」と周りに言われながらもやりました。どれだけカッコ悪くても、くじけずに足掻きました。なぜなら、小学6年の頃から四條畷高校に行きたいと思っていた

高木 晴史(関目教室)

から。すると、英検2級は1月に合格し、社会は最高の得点源にすることができました。そして結果、四條畷高校に合格することができたのです。

合格したことが分かった時、自分は今最高にカッコいい!と思いました。どれだけキツイ状況が続いても、中学3年間第一志望を変えることなく自分を信じ続けた結果、合格できたから。「俺はやればできる男だ!!うおおー!!」と叫びました。

ここまで、僕の高校受験期のお話をさせていただきました。受験を控えている皆さんに僕からのお話があります。それは、後悔だけは絶対しない受験期を過ごすことです。合格することを目標としているのはみんな一緒です。でも、結果が出てから後悔してしまう人もたくさんいます。自分は胸を張って全力で勉強ができたと言える人がどれだけ少ないか。もしも結果が不合格だったとしても、「これだけ頑張っても無理なら仕方ない!」と思えるかどうか。皆さんは、定期テストの結果が返ってきた時に反省をしますよね。この反省は次の定期テストでより良い点数を取るためにするものです。ですが、受験ではどれだけ反省しても、次はありません。どれだけカッコ悪くても、バカにされても、思うように点数が出なくても、くじけずに最後まで頑張ってみてください。きっと最後に、最高にカッコいい自分に出会えます。

は、様々な対応力を今の内からしっかりと養っていただきたいなと思っています。

10年といえば、非常勤で働いてくれている先生も、カイチ歴は10年以上の先生が今津教室に在籍しています。カイチ歴14年 入江先生・嶋先生・カイチ歴13年 山崎先生がいます。生徒から先生へ。教わる側も教える側も経験し、人に教えることにより、さらに自分の行動の責任感を高めることができているように思います。ここで培った力は就職するころには大きな力となり、就職先で即戦力級の力を発揮できるようになります。各教室にもこうして歴の長い先生達はたくさんいます。少し時間のある時にも、各先生のカイチとの関わりを聞き、耳を傾けてみるのも面白いかもしれません。

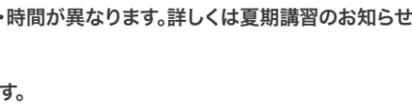
塾講師になりたての頃、「教育は生き物」と聞いたことがあります。日々成長し、変化するものだから、教える側も成長しないと対応できなくなる。それと同じように、カイチも成長し、時代に合わせた指導を行えるように日々成長しております。なんとなく毎日過ごしていると時代に取り残されることもあるので、アンテナを張り、日々成長できるようにこれからも頑張っていきたいと考えています。



▲指導の研修中



▼定期テスト前日の緊張感



▲テストに向けて必死に頑張っています

熊谷のちょっといい話

TEACHER'S VOICE

熊谷 周作(今津教室)

成長する場としてのカイチ。気づけばもうすぐ12年在籍しています。

先日、中学校の課題の職業アンケートに答える場面がありました。その時に気づいたのですが、塾講師になりとうとう20年程が経ってしまいました。その中でもカイチに来て10年以上が経ち、気づけば塾講師歴の半分以上をカイチで過ごしていることになりました。早いものです。ここまでやってこれたのも皆さんのお力添えのおかげです。ありがとうございます。

この12年程で大きくカイチも変化しました。私が入社したころは、集団授業とアップル(現パスカルキッズ)に珠算がだけでした。気づけばカイチの校舎も増え、予備校や、小学受験の万緑会に、私立中高一貫校向けのエニグマ、学童などができています。他にも、トーキングキッズや、個別、英検対策講座などもできました。学びの場としてのカイチも大きく成長しているように思います。

カイチでの仕事は、授業や、面談などの教室運営ではありません。皆様の目には見えづらいですが、様々なプロジェクトがあったり、各個人に任されている仕事があったりします。今の私では教室運営をする傍ら、人材育成の手助けをしたり、英語のカリキュラムを担当したりすることなどです。

人材育成の面では、特に意識しているのが、「自主的

に動ける人材の育成」です。マニュアル通りの仕事になると、臨機応変の動きや、仕事への面白さが半減してしまいます。そうならないように、私の想いや、考えを先生に伝えることを意識して指導し、仕事を楽しめるような環境づくりを重視して教室運営を行っています。

このように様々なコンテンツに関与することで、私自身も大きく成長してきているように思います。一つの物事を達成する為には、目標を持ち、その道筋を考え実行することが大事です。一人で達成できなさそうな時には、誰かに助けを求めることもあります。この会社では、困ったときにはお互いを助け合う風土があるので、本当に助かっています。

時代が変化すれば求められるものも変化し、それに対応する力が求められる… これは世の中の動きも同様なので、これからの時代を生き抜いていく子供達に

カイチからのお知らせ

- 学習部は7月21日(金)～8月24日(木)は夏期講習期間となり、通常授業と指導曜日・時間が異なります。詳しくは夏期講習のお知らせに記載しております。
- 7月19日(水)・20日(木)は小・中学部の診断テスト・実力診断テストを実施します。
- 7月6日(木)・11日(火)は中学部・個別指導休講日、7月26日(水)は全コース休講日です。
- 8月10日(木)～8月16日(水)は全コース休講日とさせて頂きます。

Focus

CLASSROOM REPORT 教室レポート



熊谷 真宏 (カイチ予備校蒲生校)

～より良い教室をつくるための「努力」と「工夫」～

こんにちは、カイチ予備校蒲生校の教室長の熊谷です。Growingの記事を担当するのは実に1年3カ月振りとなります。今回はこの1年で教室が変化した点について触れながら、現在の様子についてお伝えしたいと思います。

まずはなんといっても、この春に諸口校が開校したことが最大の変化として挙げられます。約20坪なのでそこまで広い教室ではないですが、授業の教室と自習室を備えており、諸口エリアの高校生にとって非常に心強い存在となっています。私自身は普段は諸口校に教えるに行くことはないのですが、3月の春期講習では2日間授業を担当させてもらいました。完成したばかりの真新しい教室で授業を行うのは非常に新鮮でしたし、何かこう気が引き締まる思いでした。もしかしたら今後も講習など短期間で授業をしに行く機会があるかもしれないので、密かに楽しみにしています。

諸口校では蒲生校に通ってくれていた卒業生達が新戦力として働いてくれています。高3の当時は毎日のように自習室に通い、最後のチャイムが鳴るまで、時にはチャイムが鳴ってもまだしばらく残って勉強を続けるくらい頑張っていました。そんな彼らが今度はチューター講師として生徒に教える立場で頑張ってくれており、諸口校の高木教室長から彼らの活躍している様子を聞かされたときにとても嬉しく思います。もし今後蒲生校と諸口校の間で先生同士が行き来するようになれば、彼らと一緒に働く機会を持つことができるかもしれないので、それも密かに楽しみにしていることの1つです。

卒業生が活躍しているのは諸口校だけではなく、蒲生校でも、3月まで生徒として通っていたチューター講師達が、今度は教える立場として教室に新しい風を吹き込んでくれています。彼らは研修を通して先輩チューターの生徒対応であったり業務のやり方を見ながら覚えていくわけですが、先輩達もまた後輩への指導を通して、自身の普段の働き方やクオリティを見つめ直す機会を持つことができるので、お互いにとってプラスとなる理想的な場になっています。4月から始まった新しい先生達の研修も基本的なものはひととおり終了し、正式

なチューター講師としての一歩を踏み出しました。新しい先生も先輩の先生達も、それぞれに光る個性や良さがあり、それを十分に発揮できるように各自に仕事を与えられるかがこちらの腕の見せ所だと思っています。「教える」という点でセンスが光る先生には集団授業を任せたり、「生徒の話を引き出す」のが得意な先生には面談を任せるといったように、それぞれの持ち味を活かせるような仕事を担当してもらうことで、チームとしてのパワーが何倍にも増します。今期はこういった「適材適所」という面を教室として特に重視しています。



▲社員に指名された先輩チューターが個別指導研修を担当中

さて、2018年に開校した蒲生校ですが、丸5年を経て今期で6年目に入りました。その間に教室を拡張したり、自習ブースを増設したり、レイアウトを変更したりと色々な変化がありました。昨年ようやく自習室が完成し、それにともない教室のレイアウトもこれにてひとまず完成形となりました。開校前のテナント探しから始まり、何もないゼロのところから1つずつ積み上げて教室を作り上げてきた身としては、非常に感慨深いものがあります。

しかしそれと同時に、物理的な面での「箱」としての教室は完成しましたが、最も肝心な「人」の面であったり「指導」面であったり、いわゆる「ソフト」の面における教室としてはまだまだ発展途上です。「いまの仕組みに無駄はないか?」「生徒に寄り添った指導ができていないか?」など、現状に満足することなく常に疑問を抱き続けられるかが重要だと思っています。

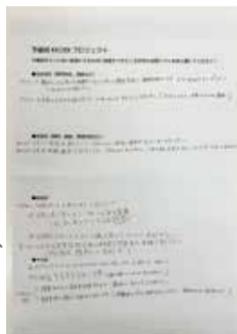
ただし、教室長の私だけがこうした意識を持っていても、教室全体で成長していくことはできません。最も重要なのは、全スタッフが教室に対して常に問題意識を持ち続け、どうすれば教室がさらに良くなるかを考えることです。そのためには情報共有が欠かせません。現状がどうなっているかを正確に把握できるからこそ、そこからの確に問題点を発見することができます。

情報共有を活性化させる一環として、今期からは毎日の業務報告LINEを全スタッフに送る形としました。これにより、「出勤した・してない」に関わらずその日の出来事や重要な情報を共有することができるので、伝達の漏れを防ぐことはもちろん、各自がよりスピーディーに対応できるようになりました。また、「予備校KAIZENプロジェクト」と称して、各先生のアイデアを活かすための取り組みも行っています。中には「これはちょっと実現するのは難しいかな…」というものもありますが、実現できるかできないかはさておき、まずは枠を取っ払って自由な思考でどんなアイデアを出してもらうことが大切だと思っています。

今後こういった改善を重ねながら、より良い教室をつくっていく日々の「努力」と「工夫」を続けていきたいと思っています。



▲先輩も後輩も和気あいあいとした雰囲気です



▲予備校KAIZENプロジェクト、絶賛稼働中!

Education

KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育



近久 賢治 (高殿教室)

TKの夏3本立て!

梅雨の季節となり、不安定な空模様が続いていますがいかがお過ごしでしょうか。高殿教室の近久です。

この記事が世に出るころにはTK(トーキングキッズ)夏のイベントであるフリーレッスンが終盤に差し掛かる頃でしょうか。今年度も沢山の子供達に参加頂き、着々と風物詩になりつつあるな～、としみじみ感じております。今回はそんなTKの夏の恒例イベントを改めてご紹介いたします。

まずは先述の「7月のフリーレッスン」です。全3回の無料体験授業を各教室で行います。毎年多数の生徒に参加頂いており、大人気のイベントとなっております。さらに今年はフリーレッスンの最終日には「サマーパーティー」も企画しております。7月18日(火)～7月24日(月)の最終回のみ、クラス関係なく15時50分からの1部と17時20分からの2部に分けてお菓子を食べながら英語のアクティビティを行います。ご希望のお時間があれば事前に担当の先生にお伝えいただければと思います。また、お菓子等のアレルギーなどありましたらお伝えいただくようよろしくお願いいたします。



▲TKのレッスンは楽しく学べる遊びがたくさん!

そして7月29日(土)からは実に4年ぶりとなりますTKサマーキャンプがあります。

こちらのキャンプですが、1泊2日の英語漬けキャンプとなります。キャンプ中は全てのアクティビティをグループで協力してチャレンジしていきます。上手く英語を話すことができたり、それぞれの

アクティビティの結果次第でドルカードをゲットしていきます。競い合ってドルが貯まっていくのを楽しみながら英語も習得していきます。



▲TKサマーキャンプ。大阪府少年自然の家まで行きます!



▲キャンプではクラフト(工作)も行います!

英語で上手く表現できない、という子のために「サマーキャンプエクプレッション」という冊子をお配りします。「お風呂English」や「ヨガEnglish」、「ランチEnglish」など様々な場面で、自然的に使う英語を、1日の始まりにレクチャーし、その場面で使えるようにしていきます。「英語で話さないと先生達は何もしてくれない!何とか英語で伝えないと!」という状況の中で子供達に英語で意思疎通できた時の喜びを感じてほしいと思います。

そして7月25日(火)から8月末まで「サマーレッスン」を行います。全4回で、3回の授業と最終週

は理科実験を行います。実験は普段TKの授業を受けている方ももちろん参加できますので、奮ってご参加ください。

毎年本格的な理科実験を行っていますので、飛び出す単語も「acidic(酸性)」「air pressure(気圧)」や「carbon dioxide(二酸化炭素)」「baking soda(重曹)」などの科学的なものや、「expand(膨らむ)」「foam(泡)」など実験などで使われるものが多いです。難しい単語もたびたび日本人の先生が入り、その都度説明してくれるので安心です。実験の内容は事前にTKの会議で安全性だったり、見た目の楽しさだったりを試行錯誤しながらチェックしています。今年の実験も楽しいものばかりですので是非楽しんでいただければ幸いです。



▲今年は何んな実験になるのでしょうか!?

TKチームでは英検はもちろんのこと、以上のような「楽しみながら英語を身につける」には何をすれば良いかを日々考えております。英検合格は目的には違いありませんが、あくまでも通過点です。英語のアウトプットに抵抗がない子供達をいかに育てていくか、というのがこれからのチームにとっての命題になるのではないかと感じています。今年の夏も楽しみながら英語を学んでいきましょう!